

上棟式祝詞

これひもろぎの神籠おに招まつぎ奉まつり令ませ坐まつ奉まつる、掛かけ卷まくも畏かしこき親神天理王命の御前ひやまに慎いしみ敬かい恐かしこみ恐かしこみも白もさく

親神の広みき厚うれき御まつ恵かたじみを嬉まつしび奉まつり辱かたじけなみ奉まつりて天理教

分教会はも既設の境内建物は平屋建でありしかも狭く且つ老朽化せし為、これより後の教会内容の充実を期し地下に駐車場を設け、地上に木造亜鉛メッキ鋼板板葺式階建なる神殿兼教職舎を境内地一杯に新たに設け奉まつらむと一同心を一つにして御願に及びしが、

去る 月 日鮮やかに御本部より理の御許しを戴き、引続き

月 日明るく厳おごそかに地鎮祭ならび並ならびに起工式を執り行いたり

その後の工程は渉外的な事情によりやや延びしが、工事関係者一人ひとりの並々ならぬ努力のお陰あまねで漸あまねく棟木取り上げむばかりに成りたるを以て、今日を生いく日の足たる日と上棟の儀式執り行わむと御前みに御酒み御食海川山野の種くさぐさ々の味物ためつものを置き高たか成なして捧うまげ奉まつらくを甘うまらに安あらかに聞食きし諾うづなひ給たまひて道の子達もろてが諸手もろてに取る綱根つなねの只一筋ひに曳ひき上げ奉まつる棟木むなぎの緩ゆるみなくやがて取付けむ桁梁けたうつばりの損そこない動そく事無なく守まもり幸さちわえ給たまひ、豫あらかじめ定めたる設計のまにく平たいらけく安やすらけく竣工ことおえしめ給たまひ併せて形のふしんに伴い心のふしんの成果もひとときわ高く大きく大きく挙げしめ給たまひ。ひいては思召おぼしめし下さる世界一列兄弟姉妹きょうだいの陽気ふしんに正しくつながらしめ給たまいと、一同と共に恐かしこみ恐かしこみも乞こい祈のみ奉まつらくと白もす